

## 2007年度 シラバス (授業計画)

科目名	英語学研究 109 (言語と数学)		
担当者	郡司 隆男	曜日・時限	水曜・3限(前期)

テーマ 言語学者のための数学

授業内容 言語学の形式的な研究をおこなうにあたって必要になる数学を概説する。高度に専門的な内容は必要ないが、大学学部時代に数学に関する知識を養っていない学生にとっては必須。主に、集合論、代数の初歩、数理言語学の初歩、論理学の初歩などを扱う。

授業計画 以下は大体の日程。テキストは取捨選択して用いる。

4月11日	Introduction
4月18日	(1) Chapter 1: Basic Concepts of Set Theory
4月25日	(1) Chapter 2: Relations and Functions
5月2日	(1) Chapter 3: Properties of Relations
5月9日	(1) Chapter 9: Basic Concepts of Algebra Chapter 10: Operational Structures
5月16日	(1) Chapter 11: Lattices
5月23日	(1) Chapter 12: Boolean and Heyting Algebra
5月30日	(1) Chapter 16: Basic Concepts
6月6日	Grammar and Complexity (handouts)
6月13日, 20日	(2) Chapter 3: Connectives, truth and truth conditions
6月27日, 7月4日	(2) Chapter 4: Predication and quantification
7月11日, 18日	reserve

授業方法 講義形式。

評価方法 出席状況および、複数の課題、学期末のレポートないし小試験による。

履修上の注意 特になし。

教科書 プリントを配布。

参考書 これらはコピーを配布する予定。

- (1) Partee, B., ter Meulen, A., and Wall, R.E., 1993, *Mathematical Methods in Linguistics*, Kluwer.  
2007年4月現在、Amazonで ¥4,625 (税込み) 通常7~10日以内に発送。
- (2) Henriëtte de Swart, 1998, *Introduction to Natural Language Semantics*, CSLI Publications.  
2007年4月現在、Amazonで ¥3,133 (税込み) 在庫あり。